



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 年度

地区補助金事業報告

プロジェクト名:

広島県社交飲食生活衛生同業組合にAEDを寄贈し、管轄交番に設置する

プロジェクトの概要について

最近、AEDの設置箇所が増えてきました。デパート・ホテル・病院など様々なところに設置されています。しかし、24時間使用できる場所への設置はそんなに多くなく、中国地方随一の歓楽街である流川界隈でも「AED設置」などの看板はあまり見かけることがありません。市内、県外はもとより全国からの観光客も訪れるこの場所にAEDを設置できれば、安心して過ごせると思いました。そこで、中央通り、流川界隈を管轄にしている新天地交番にAEDを設置していただくことにしました。また、交番署員の方、広島県社交飲食生活衛生同業組合様にもご協力いただき、飲食店や商店の皆様にもAEDを使っの救命講習を受けていただき、万が一の時にも慌てず速やかに人命救助を行っていただけるよう講習会を実施しました。広島を訪れる方に安心して楽しんでもらえる街になるよう期待します。



実施報告

2011年9月5日、広島中心地にある新天地集会所においてAED贈呈式並びにAED講習会を実施しました。当日は約50名が参加し、その模様は広島ホームテレビのニュースや新聞、経済レポートなどで紹介されました。



新天地交番にAED 広島北RCなど寄贈

広島北ロータリークラブ（高原宏之会長）と県社交飲食生活衛生同業組合は5日、心臓と電気ショックを与えて心機能を回復させる自動体外式除細動器（AED）1台を、広島市中区の広島東署新天地交番に贈った。この日、中区の新天地集会所で贈呈式を開き、署員ら約50人が警備会社社員から使用法を学んだ。同クラブ社会奉仕委員会の山下江委員長は「中央通り付近の歓楽街にもAEDの使い方を習う広島東署員」と話した。約45万円の購入費は同クラブが負担。管理は組合がするという。（木原由維）

障害者施設製作 市にエコバッグ 支援団体贈る 障害者の支援団本、

つとAEDを増やすべきだ。これからも設置を進めたい」と話した。

（2011年9月6日中国新聞朝刊掲載）